

視察（研修）報告書

令和 5年11月10日

府中市議会議長 様
創生会会長 様

会派名又は 創生会
議員名 真田 光夫

日 時	令和 5年10月25日（水） から 令和 5年10月26日（木）
研 修 先	全国市議会議長会 in 北九州、津屋崎ランチ
研 修 コ ー ス	福岡県北九州市、福岡県福津市津屋崎町
研 修 タ イ ト ル	北九州市
参 加 者	創生会、公明党 11名
研 修 内 容	全国市議会議長会 in 北九州 統一地方選挙の検証と地方議会の課題について 津屋崎ランチ： 移住・交流ビジネス化について （移住支援、起業支援など）
研 修 内 容	基調講演「躍動的でワクワクする市議会に」 片山善博氏 大正大学教授兼地域構想研究所長 大正大学：仏教と関わりがある 議会（重要） > 行政 議会が物事を決める → 決めたことを執行する機関 （地方自治法 第96条を見る） 課題：住民の関心が低い 自治体の課題：DX化、GX脱炭素化（エネルギー大転換） 議会改革やってきた：議会条例、住民説明会 ○何を行う？ ☆住民目線で見ると 日本の議会に欠けていること3つ！ 1 議場での公開場で真剣な議論 議案について審議：議案が無傷で通る （例：消化試合や相撲の八百長に近い） 議案を修正することは良いことであるので実践して欲しい 2 税の議論が行われない 夕張市：住民税を上げる議論を行った お金が無いのならあげたら良いのではないか？ 固定資産税 1.4%→1.5%に上げてはどうか？

1.4%の根拠はない
納税者の同意が必要
住民税6%も上げて良い
※実際は反対が多いので、Aの予算を他所に回す

3 住民の声が聞こえない → 住民参加の機会を作る

住民の発言の機会がない
アメリカ 動画アーカイブ情報
例：図書館の予算を減らす
(営業時間を減少する、分館を閉鎖する)
住民の声：東洋人が図書館でお世話になった
自国の情報を図書館で知っている
これがなくなると困る

☆ひとつひとつ丁寧に行うことが重要！

現行の議会を活用してもっと積極的に取り組むべき

現行の制度でもできることはたくさんある
例：議案を丁寧に審議すればできる
議員は→ 執行部の提案を鵜呑みにしない
裏をとること：委員会に保護者を呼べば裏が取れる
・市民意見を聞く会を作れば良いと思う！
・議会はアンケートを取れと言ったがしなかった
→執行部がやらないのであれば議会が行う
→議員がアンケートを取れば良い

教育委員会に目配りして欲しい
義務教育は重要だが、現場は疲弊している

いじめや不登校の問題

課題

- 1：先生が忙しすぎる、
- 2：なり手不足

解決策

- 1 従業員を増やす
 - 2 待遇を良くする
- 義務教育法の中で職員数を増やす

鳥取県

男女参画：育児休暇をとったことが新聞に取り上げられた

「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」参加者：2400人

コーディネーター：谷 隆徳氏（日本経済新聞編集委員）
パネリスト：勢一智子、辻 陽、濱田真里、田仲市議会議員

評価：200人以上無投票があった

最低の投票率

×長野県岡江市：17人の立候補で欠員

○地方議員の増加：1257人の女性が当選した

千葉県の市内市：定数の過半数が女性
兼業規定の緩和が行われた
年間 300 万円以内であれば了承された
社員が立候補する場合は、終業規則を整えること

勢一氏（別紙参照）

問題関心

- ・人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすこと
総人口の推移と高齢者人口構造の見直しにより
年代別の投票率が減り投票率の低下
無投票当選者の割合が上がる
- ・地方自治法の改正 第 89 条 普通地方公共団体に議会を置く
地方議会議員の概況や性別、年齢構成
女性議員の割合は増えている（過去最高）
地方議員の役割が明確化された
- ・第 33 次地方審議会の答申
多様な人材、開かれた議会
議会の位置付けを明確化された

辻氏

- ・多様な地方議会
小規模自治体：人口 370 万人から 1 万人を切る市もある
報酬：20 万円～80 万円を上まわる自治体もある
理想：専門化の環境を整える
結論：小規模自治体で議員として専念することは困難

濱田氏

- ・ハラスメントの現状
有権者や支援者からハラスメントを受けた人：全体の 61.8%
1 位：性的もしくは暴力的な
有権者からのハラスメント：街頭演説、住所公開、SNS、
対策：相談窓口の設置、研修、倫理規定の整備など
ハラスメントに関する条例：市町村で行われている
議会内のルール作りが重要

田仲氏

- ・第 4 回 カフェトーク in 北九州
市民意見の把握ができていない

課題解決方法：「多様な人材に議会に参加してもらおうか」

辻氏

大規模自治体の課題：人口規模が多いほど政党中心
知名度がない、資金がない

濱田氏

課題解決：第三者の介入、秘書を置く

田仲氏

ドリームサミットを開催（北九州市）
平和のまちミュージアム 小学生の 3000 名が参加
模擬選挙（フードロスのための給食大臣を選出）

	<p>議会の仕組みや選挙の仕組みがわかった</p> <p>勢一氏 学生たちの声：誰ひとり議員になりたいと思う人がいない 議会は何をしているのかわからない 就職先として選ばない 一生の仕事として思えない 労働市場にならないとダメだと思う</p> <p>濱田氏 研修、条例、相談窓口の設置</p> <p>田仲氏 5つの議員立法を行った</p> <p>勢一氏 1 議会基本条例を作り常にアップデートする 2 女性や若者の声を聞く（カフェトークなど） 3 主権者教育（ドリームサミット小学生）</p> <p>辻氏 有効投票数：公式を呼びかけている</p>
<p>所 感</p>	<p>片山氏の基調講演を聞いて 市議会改革の一環として、議場での真剣な議論や税の議論を促進すべきと思われる。議案修正は重要であり、住民の同意を得つつ進めるべきと感じた。 また、住民参加の機会拡充が必要であり、現行の制度を活かし、アンケートや市民意見を積極的に取り入れることで市政への声を反映させるべきと感じた。 今後は、教育委員会に目を向け、義務教育の現場の課題に対処することや従業員を増やし、待遇改善によって、いじめや不登校の問題に真摯に取り組むべきと感じた。</p> <p>パネルディスカッションを聞いて 今回の統一地方選挙は、最低の投票率や欠員の課題に直面しながらも、女性議員の増加や議会の明確化が進んでいます。様々な意見がある中、私はハラスメント対策や議員教育の必要性を強く感じました。今後は多様な人材を議会に参加させるために、研修や相談窓口の整備を提言します。 また、若者や女性の声を積極的に取り入れ、市民とのコミュニケーションを深めるために様々な取り組みを行っていきます。これらの努力を通じて、地方議会の透明性と市民への貢献を追求してまいります。</p>